

# 介護と人生

仕事・子育てと  
どう両立させる？

25

日本エルターライフ協会 代表理事  
ケアライフアドバイザー

柴本美佐代

## 孤立を防ぐ

家族による高齢者の虐待

では、息子による母親への虐待が最も多く、夫による妻への虐待と続き、6割以上が男性からのものです。虐待の原因の多くは、介護負担の大きさや知識不足、経済的な問題などが積み重なって追い詰められることです。ですから、男性だけでなく誰にでも虐待の可能性はあ

ります。

男性介護者が多い原因は、料理や洗濯などの家事全般に不慣れなことと女性用下着の買い物や排せつ介助への抵抗感、加えて孤立しがちなことが考えられます。これは、若い介護者や未婚の介護者も同様で、娘による虐待も夫に次いで多いのです。

介護者支援の相談窓口へ



- 料理
- 洗濯
- 女性用下着
- トイレの世話
- 孤立

社会生活のスキルがないことが介護を一層困難にし、仕事との両立も難しくなって生活が困窮するとう負のスパイラルを引き起こしがちです。追い詰められる前に助けを求めることが重要ですが、介護者自身の問題を相談する決まった窓口はありません。これまで介護者の問題に携わってきた経験から私は、高齢者の虐待をなくす

## 介護者への支援制度を作るべき

ために、介護者への支援を制度として作るべきだと思っ  
ています。家族の介護に  
頼る在宅介護では、介護者  
自身の問題を解決すること  
が不可欠だからです。

家事や暮らしの諸事に慣  
れていない介護者の場合、  
要介護者を一時的に施設に  
預けて一人で暮らすことに  
慣れてもらい、介護の手続  
きなどをする期間を最初に  
設けるといふことだけで、  
その後の在宅介護が大き  
く変わるでしょう。介護  
休業の取得もそのために使  
われれば効果も上がりま  
す。

堺市では、行政として初  
めて介護者支援の相談窓口  
を10月から開設します。

介護と子育ての「Wケア」  
の介護者を対象とした窓口  
ですが、介護者支援の第一  
歩になると感じています。  
子育てと介護に関わる介護  
者自身の問題を一つの窓口  
で相談できるだけで、介護  
者にとって大きなメリット  
だと思います。